FSS2019 基礎力養成コース サブレクチャー レポート

注：次の０から６の項目について、注意書きに従って記載します。12ポイントのMSゴシックを推奨します。枠は自由に広げて構いません。

　　　受講生番号

　　　氏名

０. 本レポートが対象とするサブレクチャー

注：これから書こうとするサブレクチャーについて、開講した年月日、サブレクチャーのタイトル、講師の氏名を書きます。欠席等で受講しなかった場合でも必ず書きます。

　　開講日：7月27日

　　題目名：研究結果の取扱い (倫理)

　　講師名：瓜谷眞裕

⒈　上記のサブレクチャーを静岡大学で受講しましたか。

　　注：該当するものにレ点をつけます。「はい」の場合は、質問した回数と内容を書きます。質問しなかった場合は「0」を記入します。

 □ はい　　　質問の回数：　　　回

 質問の内容：

　　 □ いいえ（欠席・早退・遅刻のため）

⒉ 上記のサブレクチャーの映像をウェブ上で視聴しましたか。

注：該当するものにレ点をつけます。「はい」の場合は、視聴回数を記入します。欠席者は、レポートを書く前にメ必ずウェブでインレクチャーを視聴します。出席者は、復習や確認のために、ウェブ視聴を利用することができます。

　　 □ はい　　　 視聴回数：　　　回

　　 □ いいえ

⒊ サブレクチャーの概要

　次の項目ごとに内容を簡潔に記載します。枠は自由に広げて構いません。

１）科学者・技術者はどのように見られていますか？

２）科学者・技術者の話はどれほど信頼されていますか？

３）なぜ、科学者・技術者の話は信頼されるのでしょう？

４）「自然科学には誤りを正す仕組みが内包されている」とはどのようなことでしょう。

５）信頼される科学者や技術者に必要なことは何か？

６）なぜ研究における不正行為は許されないことなのでしょうか？

５）特定不正行為とはどのようなことを指しますか。３つあげてください。

６）不正を避けるために必要なことは何でしょう。

７）意図しない不正を犯さないためには、実験ノートの活用が有効です。実験ノートには、どのようなことを記載したらいいでしょうか？できるだけあげてください。

８）研究成果を発表するとき謝辞に書くべきことは何でしょう？

⒋ 感想

注：講義および質疑応答でのやり取りを聞いて、面白いと思ったことや、興味を掻き立てられたこと、不思議に思ったこと、自分の将来のビジョンに参考になったこと、自分の意見・考え・主張など、心に浮かんだことを自由に書きます。いくつかいても構いません。文字数に指定はありません。

５．課題

　 あなたはどのような科学者・技術者を目指したいと思いますか？

注：講義を聞いて感じたことや日頃から思っていることなどを参考にして自由に書きます。文字数に指定はありません。